

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
灸実技3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	安齋勉			実務経験	有	職種	鍼灸師				
授業概要											
<p>日本に古くからある伝統的なお灸が、近年見直されてきている。「熱い」と思われているお灸の熱量を学生が自信を持ってコントロールしながら、すえられるようになることを目的とする。実際の現場では、治療のスピードも重要な要素となってくるので、学生が同じことを速く出来るように身に付けさせる。透熱灸・知熱灸ともに形よく、手際よく、速く、安心・安全にできる重要性を理解させるようになることも目的である。</p>											
到達目標											
<p>①学生が5分間で竹筒に80個以上すえて点火するだけでなく、硬くひねらないように行う。②学生が2種類の緩和操作方法（母指・示指）・（示指・中指）ができる。③学生が自分の思っている熱量と患者役の学生が感じる熱量とを一致することができる。④学生が知熱灸を一度に4個以上点火することができる。⑤安心・安全なお灸化できるようになることが目標です。</p>											
授業方法											
<p>5分間の竹筒に行う米粒大の透熱灸点火練習を行う。続いて学生同士でペアを組みこちらで作成した緩和と操作確認シートで、自分の感覚と患者役の学生が感じた熱量を確認しあう。授業の最後に反省点等を記載させ、提出してもらおう。知熱灸練習も学生の技術が控除してきたところを見計らって、手技を教え、加えていく予定である。</p>											
成績評価方法											
<p>期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。</p>											
教科書教材											
自作資料											
回数	授業計画										
第1回	概論基本復習										
第2回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）①										
第3回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）②										

灸実技 3

第4回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）③知熱灸練習
第5回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）④知熱灸練習
第6回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）⑤知熱灸練習 2点法練習
第7回	5分間竹筒灸練習知熱灸練習 2点法練習
第8回	5分間竹筒灸練習知熱灸練習 2点法練習
第9回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）⑥知熱灸練習 2点法練習
第10回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）⑦知熱灸練習 2点法練習
第11回	知熱灸技術確認
第12回	知熱灸技術確認
第13回	技術細部確認
第14回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）⑧知熱灸練習 2点法練習
第15回	5分間竹筒灸練習お灸課題（知熱緩和確認シート）⑨知熱灸練習 2点法練習